

宮川さん最優秀賞

障害者主張 仕事の喜び語る



障害者の主張大会(県主催、県障害者福祉協会主管)が8日、甲府・県防災新館で開か

主張を発表する参加者
——甲府・県防災新館

在住の6人が、日々感じていることや取り組んできたことをまとめた提言や希望を発表。関係者約30人が聴講した。視覚に障害がある宮川さんは、介護老人福祉施設で機能訓練指導員として勤務。「2年生、只今社会勉強中」と題し、握力の調整などのサポートに取り組んできたことを発表した。「未熟な私でも利用者の役に立てる喜びを味わった」などと語った。優秀賞には高部健一さんが選ばれた。大会は、障害のある人が考

3回目 会場変更

甲府市 屋外待機回避へ

新型コロナ ワクチン情報

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種で、甲府市は集団接種会場を2回目から変更した。高齢者らを屋外に待たせることを回避するため、より広い総合市民会館と県地場産業センター(かいてらす)を新たに設け

2回目の会場だった旧相生小体育館、北・東公民館は「会場や駐車場が狭く、高齢者らを寒い屋外で待たせることになりかねない」として取りやめた。

市医療感染症課によると、総合市民会館は1月下旬から、モデル地区として先行接種した相生地区の高齢者を対

象にスタート。かいてらすは2月以降、施設の空き状況に応じて随時行う。このほか西・南公民館、コリ地下、市環境センターで実施。甲府記念ホテル、アイメッセ山梨でも随時行う。いずれの会場も土日のみ。

2回目の接種から8カ月以上経過した人が対象。担当者は「接種間隔が8カ月より短い前倒しでの接種は流動的な状況。前倒しする場合は平日の接種も検討する」としている。

〈山本久美子〉

かいてらすネットワーク

「芸術の森」の魅力

えを広く伝えることで障害に
対する正しい理解を深めるこ
となどが目的。障害者週間(3
~9日)に合わせて開催した。
新型コロナウイルス感染症予
防のため、表彰式は行わな
かった。
大会の様子は後日、県の公
式ユーチューブチャンネルで
配信する。
〈清水悠希〉

県立文学館と県立美術館
の職員が、両施設や施
設がある甲府・芸術の森
公園の情報をまとめた小
冊子「GM(ジーエム)」
を創刊した。若い世代に
も施設や公園に足を運ん
で楽しんでもらおうと、
気軽に利用できる館内の
ショップやカフェなどを
紹介している。

GMは「芸術の森」の
描いたデザイン。公園特
創刊号の表紙は「一人
の心が動く芸術」(担
当者)を星に見立て、星
が広がる空間に、ビッグ
アップルに乗った少女を



県立文学館と県立美術館の職員有志が作製した「GM」

文学・美術館職員が創刊

るて施担しをる。つ施、明館手とげん市思し介る、付る集